

「観光関連事業者景況調査（4月分）」集計速報

調査概要

本調査は、静岡県中部5市2町の観光関連事業者の中から抽出した320事業所に対して2022年5月10日付で調査票を送付し、郵送またはWebで147事業所から回答（回収45.9%）を得た。表内の数字は指数（STI*）で示しており、最大+50、最小▼50で、基準時点と比べた景況感を示している。

1. 直近の景況感

（1）前月と比べた当月（4月）の景況感

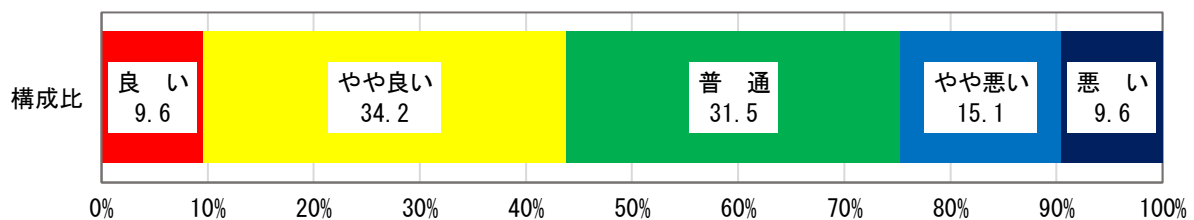
- （全体）4月の景況感は+4.8と前月比▼3.7ポイント下降したが、2か月連続のプラス。
- （業態）全業種が±0.0以上で、なかでも飲食店の景況感が良い。
- （地域）牧之原市以外はプラス、静岡市・島田市・藤枝市・牧之原市は指数が下降。

前月と比べた当月（4月）の景況感（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
4月・速報	+4.8	+1.7	+4.7	+13.0	+3.8	+2.5	±0.0
3月・確報	+8.5	+6.9	+10.6	+9.8	+9.1	+0.0	+12.5

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
4月・速報	+4.8	+3.2	+1.6	+12.5	+7.1	▼9.6	+12.5	+18.8
3月・確報	+8.5	+11.2	+6.3	+1.8	+7.8	+3.6	+4.2	+13.9

前月と比べた当月の景況感



※…STI (Suruga Tourism business Index) …静岡県中部5市2町の観光関連ビジネスの景況感を示す指数。設問に対して5択（「良い」+50、「やや良い」+25、「普通」±0、「やや悪い」-25、「悪い」-50）で回答してもらい、回答を点数化して合計し、有効回答数で除した値。全員が「良い」と回答すれば指数は最大値の+50となり、全員が「悪い」と回答すれば指数は最小値の-50となる。結果がプラスの場合には基準時点よりも景況感が『改善』、マイナスになれば基準時点よりも景況感が『悪化』したことを示す。

(2) 当月（4月）と比べた2～3か月先の景況感の見通し

（全体）今年4月と比べた今年6～7月の景況感は+0.5と、横ばいの見通し。

（業態）飲食店と交通の指数が前月から改善したが、残る4業態は前月から悪化。

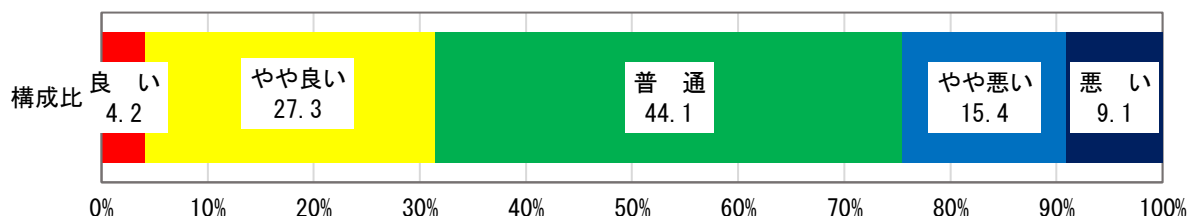
（地域）焼津市と吉田町と川根本町は前月に続きプラスだが、藤枝市は前月に続きマイナス

当月（4月）と比べた2～3か月先の景況感の見通し（STI）

業態別	地域全体	観光・体験	宿泊	飲食店	土産・小売	交通	その他
4月・速報	+ 0.5	+ 1.1	▼ 4.9	+11.4	+ 2.5	▼ 5.0	± 0.0
3月・確報	+ 3.5	+11.2	▼ 3.3	+ 7.6	+ 4.5	▼11.1	+12.5

市町別	地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町
4月・速報	+ 0.5	▼ 2.2	± 0.0	+ 8.9	▼ 8.9	▼ 1.9	+16.7	+12.5
3月・確報	+ 3.5	+ 4.9	▼ 2.5	+ 5.4	▼ 4.7	+ 1.8	+ 8.3	+16.7

当月と比較した2～3か月先の景況感の見通し



2. 過去と比べた当月（4月）の景況感

(1) 昨年同月（コロナ禍）と比べた当月の景況感

地域全体 +11.6 (前月 +1.1)

(1年前からの変化の要因)

- ・行動制限がなくなり、団体客（バスツアー）が戻った（観光・体験、宿泊）
- ・県民割（ブロック割）の効果があつた（宿泊、交通）
- ・イベントが開催された（観光・体験、宿泊、飲食）
- ・割引クーポン配信で売上が増えた（焼津市、土産・小売）
- ・休日の天候が良かった（観光・体験）
- ・まん延防止は解除されたがコロナ感染者が多く、外出自粛がまだ多い（飲食店、交通）

(2) 2019年同月（コロナ禍以前）と比べた当月の景況感

地域全体 ▼20.2 (前月 ▼23.1)

(コロナ禍以前からの変化の要因)

- ・新型コロナの影響で団体客（団体バス）が減少した（観光・体験、宿泊、土産・小売、交通）
- ・1グループの人数が減少した（宿泊、飲食店）
- ・インバウンド需要が戻らない（宿泊、土産・小売）
- ・燃料費・材料費が値上がりして利益率を圧迫（観光・体験、宿泊、飲食店、交通）
- ・客単価が下がった（観光・体験、宿泊、土産・小売）

(以上)